

生駒市立鹿ノ台小学校 校長室から H23.5.2

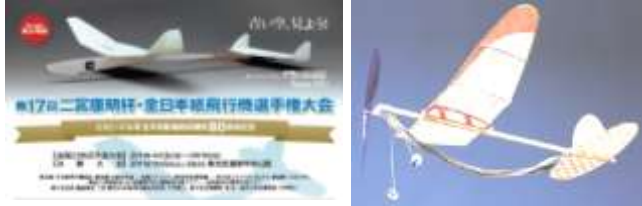
しか小だより No.2

ゴールデンウィークが始まった！

過ごしやすい季節にまとまった時間を家族で共有するのもいいですね。親子でのんびりできる計画をたてましょう。

一緒に作る

紙飛行機やライトプレーン(ゴム動力飛行機)、あるいは、お菓子づくりやお料理も。



一緒に歩く

近場では、くろんど池から私市。生駒山・二上山・葛城山・金剛山。新緑がきれいです。山だけでなく近鉄沿線のハイキングコースはいっぱいあります。駅で聞いたら、とてもマップをもらえます。なお、左と下の写真は大阪府民の森HPからです。



一緒に探す

大阪府民の森の5月の動植物誌です。珍しいものを見つけて調べてみよう。

左からフクロウの幼鳥、シラネアオイ、モリアオガエルの卵。



一緒に見る

博物館や科学館・美術館には頭や心を刺激するものがいっぱい。



左から、京都市立青少年科学センタープラネタリウム、橿原市昆虫館、滋賀県立美術館「名画でびっくりカラーージュ」の案内です。

職員等紹介 No.1で紹介した職員以外、今年度も様々なスタッフがそろいました。

ALT	未定	初任者指導	仲嶋 由紀子
英語講師	杉山 祥子	初任者研修時講師	坂本 陽子
英語サポーター	安井 いづみ	特別支援支援員	金辻 多津子

他に学生のスクールサポーターが入ります。なお、3、4年の英語活動12時間のすべてにALTが入り、5、6年の英語活動35時間には、ALT、英語講師、英語サポーターのいずれかが入ります。

文化鑑賞会：劇団たんぽぽ「100万回生きたねこ」

10月20日の文化鑑賞会は、文化庁の次世代を担う文化芸術体験事業による開催となりました。「100万回…」は、佐野洋子さんの絵本が原作で「生きる」をテーマとしていますが、愉快地軽快に命の大切さがわかる劇となっています。



子どもと共に親も外国語を再スタートしませんか？



この本の作者は、趣味として大道芸でジャグラーをしています。本業は数学者です。そして、12ヶ国語が話せません。外国語活動が本格実施された今、英語に限らず外国語の習得や様々な学習について目からうろこの本ですよ。



昨年平城遷都1300年祭で「子どもたちからの古都奈良のメッセージを世界に届けよう」という事業があり鹿ノ台小からも応募しました。このメッセージはアマチュア無線を通じて発信され、いくつか返事が帰ってきました。その中で卒業生が最近いただいた返事の絵はがきです。北海道旭川市の方から卒業生宛に届きました。東日本大震災でもアマチュア無線が大変役に立ったと聞きましたし、国際宇宙ステーションとアマチュア無線で交信するイベントもあるそうです。

家庭訪問にご協力ありがとうございます。学習参観・育友会総会には是非お越しください。

5月のめあて たのしい給食にしよう

たのしい給食にするために、給食着をきちんと着て、みんなで協力して配膳します。嫌いなものもできるだけ食べられるようになってほしいですね。



鹿ノ台の風景

東門を出たすぐの中央公園で先月下旬見つけました。がくの下がロート状になった「カンサイタンポポ」です。がくがめくりあがったカントウタンポポは、年がら年中見かけますが、カンサイタンポポは、この時期、自然が残っているところにしか咲きません。

今月の言葉「ややこしや～、ややこしや～」

8年ほど前、NHKの番組「にほんごであそぼ」で野村萬斎さんが演じた狂言の一節。なだぎ武さんのギャグとしても流行りました。その頃ラジオ語学講座で清岡智比古先生がややこしい文法の説明で何回も叫ばれていました。困難にぶつかったとき、この言葉を発することにより、困難が客観化され、克服する元気が生まれますよ。ほんまかいなと思われるかもしれませんが大声でどうぞ。

民博「ウメサオタダオ展」紹介



先日、国立民族博物館の特別展「ウメサオタダオ展」を見るために久方ぶりに万博記念公園に行ってきました。太陽の塔が輝いていたのとカラスが多いのにびっくりしました。梅忠忠夫さんは「知的生産の技術」等の著書で知られ社会学者のイメージがあるかもしれませんが、戦前から今西錦司隊長の下世界の至る所を探検した知的好奇心に充ち溢れた人類学者であり文明論者でした。この特別展では、部品を組み立てて文章を作る方法のもとであるメモ「ござね」や、探検時に記録されたフィールドノートが展示されています。上の写真はタンザニアの部族の蜂蜜酒を入れるひょうたんです。下の写真は博物館入口の手回しオルガン。空いていたので自由に回せました。特別展の内容は5月22日のNHK・ETV特集で紹介される予定です。

